

特
一

201
88
1

収

楢林雜話

立原甚五郎記

楢林重兵衛名通字達夫一名高廣年五十歲世之長崎

ノ人ニテ和蘭譯官ヲ勤ムルコト五代ナリト云重兵衛父ヲ重

衛門ト云重衛門弟ヲ榮左衛門ト云重兵衛譯學ハ此榮

左衛門ニ學ヒムリトナリ榮左衛門妹アリ福地昌雲トモノ妻

ナリ此子二人福地仙藏楢林榮達ト稱ス榮達ハ楢林流ノ外

科ノ業トス重兵衛二男三女アリ長女ハ今村才衛門妻トナル

次男礼助父内共ニ實錄其年會享江戸ニ来リ佐々木新吾ト改ム年二十四歳

ナリ我長子等次男弥一郎佐渡奉行三屬ノ佐渡ニ在ル稽古通事ヲ勤ム年二十一歳ナリ次女山崎

左兵衛妻トナル山崎ハ毛利大膳殿宗對馬殿兩家ノ用達ナ



リ小女八年八歳ナリト云重兵衛ハ先年事アリテ譯官ヲ
免カレ居タリシニ今年 公義御用ニテ江戸ニ召サレ松前ニ
遣ナル松前御用畢江戸ニ歸リ居タルヲ中山大夫 公義
ニ伺ノ上水戸ニ下レ給ヒ予ニ命メ接待セシム二月十七日江戸
ヲ發ス小石川ヨリ御中間二人ヲ附メ送ラセラル 鈍子鹿嶋
ヲ廻リ磯濱ヲ過淋雨ニ阻ラレ廿八日晝水戸ニ着預メ命
アリテ下町一町目會所ニ稅駕セシム 紙町駿河屋仁衛門
ト云モノ厨膳ノ事ヲ司ル此日夕予吉田本助賤兒甚太郎ヲ伴
ヒ旅舎ヲ訪フコレヨリ吉田賤兒ハ日こニ詣リテ蘭學ノ語ヲ
尋問ス

廿九日朝訪之

晦朝訪

三月朔予家ニ招キ饗ス

二日朝訪

三日兵ニ凌ニ至リ御舟ヲ改メ出サシム明日海ニ渡ハツテウラ操

舟法ヲ試シトテ議ス席ヲ以テ帆ヲ作ル此夜凌ニ宿ス

四日帆ヲ作り畢分過ヨリ海ニ渡サレ長海上風荒ク且水主ハ

者後學ノ志薄ク快ク帆ヲ引コト能ハス一二ノ杭ニテ泣ヒ歸

予ハ此夕家ニ歸ル重兵衛ハ凌ニ留リ水主ノ内志アルモノ多リ

問

五日兩重兵衛凌三留ル

六日同

七日晴此日風重兵衛水戸ニ帰ル

八日朝訪

十日晝訪

十一日晝過訪長尾理平太本見

十二日原玄與ノ家ニ至リ共ニ泉町大田屋與衛門カ家ニ

宴集シ夜五ツ過帰ル

十三日晝過訪

十四日重兵衛吉田明神山ニ遊鶴見平左衛門本助賤

兒從之

十五日朝訪重兵衛祇園寺ニ至ル本助天沼文龍渡邊

五郎衛門從之

十六日朝ヨリ予ト共ニ坂戸千束原ニ遊フ長尾理平太本

助高野昌碩兩賤兒文龍等從之

十七日夜訪

十九日晝訪

廿日夕訪

廿一日予カ家、招郷食

廿二日夜訪

廿三日本村謙次郎江戸ヨリ帰着夜共ニ訪之

廿四日重兵衛銚田邊ニ遊本助勝倉氏蔵役之

廿七日帰

廿八日重兵衛資用之ニキ由テ聞本助ニ託ノ金二兩ヲ贈ル

廿九日夜講江島啓坂場與蔵ト共ニ訪之

四月朔鶴見平左衛門カ家ニ招饗

二日原玄與カ家ニ招饗

五日晝訪夜又訪

五日今日告別四ツ比水戸ヲ發ス平九郎ヲ附テ送ラレハ淺村醫

算川水光カ次子昌遺醫醫學ノタメニ從遊ス鶴見平左衛門本

助賤兒文龍長岡ニテ送行留寓中ノ雜話左ニ記之

和蘭通事八人アリ大通事小通事四人マナリ大通事ハ五人

扶持銀十二貫目マナリ役料ニテ二十五貫目ニ當ル和蘭人ヲ送り

江戸ニ出ル時ハ九十貫目オトノ給分ニ當ル小通事ハ三人扶持銀

五貫目マナリ賜ル外ニ小通事並ト云アリ扶持ハ賜ハラス銀四貫目マナリ賜

ハル又小通事末席平通事アリ三貫目マナリ賜ルト云

重兵衛江戸ニ召サレ在留ノ内賜ル祿御扶持代一月五十五道

具代五十五道料九百五外ニ一日十五五マナリニテ又ハテ三十二三

兩ニ召ルト云アリ召連々本村辰次郎ハ書役ニテ祿二貫目三十三

兩ニ召ルト云アリ元ノ役ト云ニ移ル江戸ニ蘭人護送ノ時ハ四貫目

唐通事ノ稱ニ和蘭通事ニ同シクメ少シト云フ班位ニ
下ナリ唐ハ五人ツナリ

楠林氏ハ佐々木高綱ノ裔ニテ筑後水瀨郡楠林村ヲ領シタル又
ヨリ出佐々木四郎衛門ト云人アリ後楠林新五衛門ト云ヨリ和

蘭醫方ヲ傳フ重兵衛五代ノ祖ナリ

長崎氏ノ孫ハ今大村ニ仕フ番頭ヲ勤ム

長崎ニ施薬館アリ醫士二人シテ司ル一人三貫目マノ薬料

ヲ賜ル

明人張瑞圖ノ孫唐大通事ヲ勤ム張孟瑞ト云俗名ハ清川

榮左衛門ト稱ス

林道榮ハ林亮叟ノ孫ナリ即北和尚ノ從兄ナリ妻三人アリ一

人ハ漢土ニ生レテ歸化セル女ナリ道榮六代孫今林百十郎ト

云重兵衛ノ姪ナリ此家ニ隋ノ古鏡ヲ傳フ地ニ黒クニ云

長崎唐館ニ穴道ヲ作り竊ニ往來ヲ通メ又ケ荷ヲ買タル者アリ

其事アラウレテ刑セラル近年ノ事ナリ先年水戸劉又郎ノ養子實ハ姪ニ

テ彭城源太郎ト云モノ此同類ニテ此時出奔ス今江戸ニ潜匿ス

ト云

今長崎ニテ用スル唐音ハ南京音ナリ南京ハ宋ヨリノ都ナルニハニ

正音ナリ音輕シ北京ハ韃ヨリ出ルニヨリ音重シ又関西関東ノ

別アリ日本ニテ京江戸大坂ノ音異ナルカ如シ

江戸御普請役渡邊大之助倉橋藤四郎二人台命アリテ重
兵衛ニ從テ蘭學ヲ習ハシム

長崎ニ陽其明ト云書家アリ常ニ云初學初ヨリ董帖ヲ學ビ
御家流ノ如クナリテアリ、他ヲ學テ自得ノ上ニ董帖ヲ學ブハシ
ト云アリ

熊代多ノ十郎ト云人祝枝山ノ書ヲ藏ス甚神妙ナリ

内藤忠衛門ノ所藏ニ趙文敏ノ春畫解大紳ノ跋アルアリ

今白川ニ仁エタル石井庄助ハ初長崎ニテハ糧米方ト云役ナリ平所
人ナリ通事和田氏ノ養子トナリ和田清吉ト稱ス故アリテ通事役

ヲ賣リ奉行ノ役所小役人トナリシカ奉行官ニ不遇ニテ江戸ニ出

柳生肥前守ノ邸ニ居リ後白川ニ仕フ

寛政十年蘭舟帰帆ノ時銅ヲ多クツミ入タル故舟海中ニ沈ミ

テ浮ムコトヲ得ス急ニ荷物ハトリ上メレ尼舟浮ヒカヌシ蘭人大
ニコレヲナケキ唐舟ニ艘ヲ借シタハ、兩方ヨリ挾ミテ引上ント

云唐人ニ是ヲ告ルニ唐人モ吾舟ノ損センコトヲ恐レテコレヲ許サス

時ニ獵船ヲ用テコレヲ引上ント云コレニ命セラシ今日ヨリ引出スコ

トニカ、レリト其日出ヒン書長崎ヨリ来ニ

重兵衛曾テ蘭人ヲ護送メ江戸ニ至ンコトアリ一日中途ニテ蘭

人ト共ニ歩行セシニ六部僧ノ背ニ子易觀音ノ像ヲ負タニ逢フ

蘭人怪ニテ云此神日本ニテモ奉スルヤト云猶林コレハ子易觀
音ト云佛像ナリト云ケレハ蘭人云此神像ハ我方ノ教主ニクテ
一リアト云神ノ像ナリト云ツリト云

蘭地ノ軍神ヲ云ルト云火星ナリ像ハ一リシ天ニ似タリ

長崎ニテ鰯魚獵多キ時ハ唐和蘭交易ノ利ニモサレリト云

海上トナリ鰯ニハエサラニクカヨシ且サハサリ且エサハ小海老ヲ海

中ニニクナリ長崎ハ入海ナレハトナリ鰯ニアラヌ故ニエサハ用ナルナリ

長崎ニ通ルヲ他ノ領分ヨリエサニテトルコレヲ及ヒ漁ト云長崎ニテ

白魚ノ利十月ヨリ二月彼岸比ニテ二百兩ノ餘ニアタル長崎ニテ

長崎ヨリ對馬ニ四十八里對馬ヨリ朝鮮ニ至ルモ四十八里ニ近シ朝

鮮ヨリ對馬ニ米ナトヲ送ル蝦夷地ニ熊多キコトク朝鮮ニハ虎多

シ熊ヨリ身輕クメ飛走ス時々日本館ニモ来ルコトアリト云

九州ノ地ニスヘテ人別多シト云

天妃ヲ祭ル寺長崎ニ多シ興福寺隱福濟寺木聖福寺鉄崇

福寺非即ナト其外所ニナリ天妃ノウヲ馬ツツト云

飛鳥ハホト云モノ家藏劉松年周武王祥夢圖アリ

皓臺寺ニ董具昌楷書法華經ノ真跡アリ

長崎ヨリ一里ハナリニ岩屋ト云所アリ大村領ナリ此寺ニ古鐘アリ

リ銘ニ時政徹行ナ此ニ至ルト云フアリ

又三十里ハナリ鍋島ノ城下ニ佐賀ト云所アリ俊寛ノ墓アリ

俊寛ハ此所ニ忍ヒ来リテ死セリト云

流黄島ハ長崎ヨリ三里ハカリ鍋島ノ領ナリ漁人多ク雜居シ

日ニ長崎ニ往来ノ舟絶ルコトナシ楠林ナトモ遊行シタリ月毎

豪富ノ民モアリト云此海岸ニ千疊敷ト云石アリ一面ノ大

石三四十間四方モアルハ甚奇觀ナリ

出島ノ火災ハ寛政十年三月六日ノ夜ナリ

去年江戸ニ来ル蘭人ハヘンミイト云日本ニ五年逗留セリ病ニ

四惟リテ春寒ノ節上途ヲ恐レ夏ニテ延ヘムハラシコトヲ願シ

ニ役人虚病ナレトテコレヲ許サス遂ニ二月上途ス途申

ニテモ寒ヲ甚恐レシト云帰路掛川ニ於テ死ス其地ノ寺ニ葬

ル年ハ五十餘ニモナルハ此時ノ通事ハ中山作十郎ナリヘンミイト死

メ其行李中ヲ改タリレニ通事名村惠介ト云モノヨリ蘭人

ニ贈ル所ノ書ヲ得タリ其文意ハ蘭船二艘来ル内一艘ハ海

中ニテ中實セントノ約束ノ文ナリ其罪ヲ以テ十二月廿三日惠

介ハ長崎ニテ磔罪ニ處セラレ堀門十郎モ此同類ノ由ニテ搜

索セラレシニ行方ヲ知ラズ是ヨリ先ニ門十郎ハ薩州ニ仕エタリ

シカ國ニモ至ラズメ出止セリト云後ニ間々ニ執州邊ニ潜居スト

モイテ倒ノ案ヲ搜捕セラルニモナシト云エタリ薩州ノ士伊集院主

和蘭通事松村安之允嘗テ職ヲ辞メ薩州ニ仕此人死メ後

門十郎ヲカ、エラレシト云

長崎諏訪明神ノ大宮司一年ノ禄千兩ヲ賜ハル市中奉納モハナラスト云

馬ハハルシヤ産天下第一ナリヨオト大ナルモノナリ十四五年前ニ江戸ヨリ御用ニテ五足ヲ舟ニ載セ来リ獻ス銅三萬斤ヲ賜ハル千斤ハ一貫五百斤ノワリニテ金七百五十兩ニ當ル此馬舟ヨリ出テ後首ヲ揺動スルニト舟ニ在ルカ如シ舟心ヌケサリシヨリ前ノ高キ板ノ上ニ前足ヲ踏セテキタレハシハク前足ヲスリクシテ遂ニ舟心失セタリト云

ブタノ塩漬ヲ公ト云漢名臘乾ト云

カメロント云獸ハ物ノ色ニヨク寫ルモノナリ壁ノ側ニアレハ壁ノ色

ニナルイモリノ如クナルモノニテ陸ニ住ムモノナリ

大ヲ食スルハ鍋島薩州ノ兩地ニナリ鍋島ハ好テ食スレバコレ

ヲ耻ル色アリ琉球通事太平源蔵モ大ヲ食シタリ

唐人嵐ノ赤子ヲ塩カラシテ食セリ

漢達兒行和蘭ニハマリ番者ヲ *Sen Dier* ト云

桂川氏ノ所蔵ニ *Quercus* ノ藥水ニ漬ケルアリ往年躰壽館

ニ出メ人ニ示セリ真物ニアラスコレハ *Quercus* ト云モノナ

リ山中ニ在テ此木ヨリ彼木ニ飛遷ル片光アリダラカヲ

畫クニ火ヲ畫クハ此光アル形ヲ寫セルニテ火ノモユルコトクナルニ

ハアラス先年吉雄和蘭ヨリトリヨセ養々ハコルコトナリ

駝ナリ暖地ノ産ニテシマノ邊ニ在リ

寛政十一年ハ和蘭ニテ千七百九十九年ナリ

蘭人大人國ノ人ノ手ノ形ヲ紙ニ押ムルヲ持来ルコトアリ借テ寫
サント乞ケレ氏奪ハレシコトヲ恐レテ許サ、リシト云其大サ一尺
二三寸モアリト覺ユ

蘭人常食ニパント云モノヲ用ニ長崎ニコレヲ賣ルコトヲ業トスルモ
ノアリ。パン屋ト云蘭人皆パン屋ヨリ買テ食ス。パン屋年中ノ利
二百兩ハカリナリト云。パンノ上ニボルトル^酪羊ヲ引テ食ス又蜜ヲ煎
メ卵ヲカケテ煮ルヲ。パンドウスト云。パンヲ製スルニハ小麦粉四升ニ
醴酒一升ハカリヲ入テヨクコ子銅器ニ入上下ニ火ヲカケテコレヲ

マクカゴホコヲ製スルカ如シソレヲ切テ食スルナリ長崎ニテ月餅
又明月餅ト云ケレイクス書ニパン子ストアリ。パンハゼルニアノ語ナ
ルシ蘭語ニハパンハ鍋ノコトナリ鍋ニテ蒸スト云コトナルレシパンノ焼
ツキタル皮ヲコロイシト云小兒ノ虫ニテ食テ忌又面部ト腫ルニ
用テ可ナリ

和蘭ノ一度ハ十五里イスバニマハナ七里半エケレスフランスニ十里
ニアタル一里ト云モノ^{日本}裁^本邦ノ三里ニアタル日本ノ一里ハ和蘭ノ二里何合
ト云三里ノ内ニナルナリ

蘭人ハ悲ニモ樂ニモ石火矢ヲ放スコト例ナリ
蘭人ハ年二十五歳ニテハ金銀ノアツアヒニカルコトヲ許サスト云
蘭船着岸ノ上船中燭硝ハ皆トリ上ケ土蔵ニ入收ム船中ヨリ

トリ出ス所四斗樽ハカリ七桶六ツハカリナリ

蘭船一艘ノ製造費用ハ三千兩ハカリナル

蘭人ノ禁服ハ黒ビロウドナリ江戸ニ来リ御暖ノ時コレヲ服ス

蘭人ノ畫工ニ命ノ我面ヲ寫サシムルコトアリ黒ク深ク紙ニ

節ヲ引タルニ其人ノ面ヲ見クラベテ大概ヲ圖シ返リ別紙ニ

ヨクコレヲ寫ス心ニオハサレハイク度モ寫シ改ム此潤筆五百々

ハカリヲ贈ル其面ノ外ニ筆硯床机ノ類ヲ加工畫クモノアレハ又

外ニ潤筆アリ

ロヒタン役ノ者日本ノ行役ヲレハセイロン。コスト二州ノ奉行ニ

進ム又ニラウカノ奉行トナリ又セ子ラニ進ムトナリ

カレイト云食用ハ日本ニテ地黄ヲ用ル如キモノナリ雞肉大麥

一同ニ水ニテ煮大麥ノクハル、おトニシテ度トス煮ル内ニ油ノ

浮ミ出ルヲ汲ステ塩ヲサシテ食ス補養ノ藥用ナリヨクキ、

タル中ハ下利ノ付ルモノナリ以テ附養要自者即出牧州州但以行

セ子イムル磯松此實ヲセ子イムルベイレイト云燒酒ニツケテキ

其酒ヲ飲ム利水ニ妙ナリ此ヤニテ真鍮ノ上ニ引ケハ流金

ノ如クニナルナリ

バドウボウ又ドロツハンスウトホウト俗ニズボトウト云甘酢一味ヲ煎シツムル又大茴

香ヲ加ルモ可ナリ

和蘭ノ酒ヲポンスト云コレヲ製スルニハ燒酒一杯水二杯沙糖宜

肉豆蔻 香氣 肉桂 木酢 梅杣枳殼 等ヲ入

沐乃伊本名 蜜 ヲマアト云イタリヤハルシマナトヨリ出ルコレハ

バルサモト云薬ヲ人尸ノ腹内ニツナク中ハ何年ヲ歴テモ

其容朽腐スルコトナシ先祖ノ形容ヲ永ク存セントスルモノ

ハ如此ノ箱ニ入ラ其尸ヲ貯フコレヲ多クアワカリ置ク寺ノ

如クニ館アリ其中ニ印記ヲ見出シ易ク又其中ニミ子孫絶

テ入用ノナキ尸ハ其館主山野ニ埋メ蔵ス後ニコレヲ發ス

ルモノ木乃伊ナリ

バルサモハハルシマヨリ出ル金瘡打身ニ妙ナリニイラモ同效

阿魏ハ鬼ノ糞ト云蘭語ゴムアサヒテイダウナリ

エラヤハラクニニヤギ 野ノ血ヲヌル 又野牛ノ血ニテ煮テコ

レヲ刻スルモ可ナリ

蟾肪ヲトルニハ蝦蟇ノ額ニツ並ヒテフクレタル所アルモノナリソレヲ

毛ヌキニテハサミトキカキ膏ノ如キモノアリ是ナリソノ跡ノ蝦蟇

ハ水中ニ投スレハ忽死ス草野ニ放スハニ 蘊 生スルモノナリ

貝ヲ和ラクルニハステルキワアトル 丹莖ヲテ製ラ付ン餘リ強スルモノ

ナリ酢ニテ可ナリ貝ヲ切ルニ紙又絹ノ類ニ酢ヲ漬シソレニ

テ鋸ノ齒ノナキヲ拭ヒクシテ切ルニ

竹ヲ和ラクルニハ水ニ酒ヲ入テ煮ルニ

鹿角ヲ鍊ルニハ分レクニテ子ル 法アリ

生燕脂ハ此エニテ製スルコト能ハスコンセニイリイト云虫ニテ染

ト云 エワロツハヨリ出又 生燕脂ノ染カスヲ藥肆ニテ花没薬ト

云テコレヲ賣ル又漆出シタルトノ綿ハ血ヲ留ムニ妙ナリ

アンプル 龍ノ真物ハ火ニ入レハ烟直立ス

イメチハ骨節疼痛ヲ治ス

蒲公英ハ乳房ノ痛ニ酒ニテ煮テ酒ヲ飲滓ニテタテル

小瘡ヲ急ニ治スルニコレヲ付ケ火炭母艸根ノ散薬ヲ服シ

トシ身中ノ節々ニコレヲ付ケ火炭母艸根ノ散薬ヲ服シ

コレヲ下ス急ニ治スルモノナリ又大黄菊銘石末ヲ酢ニテ子リツ

クルモコレ

蝦夷栲ヲ蘭語ロルケンボウト云

俗ニツヒルト云薬刺天語シツヒルト蘭語ゲソイクルデ

水銀製ノ物生々乳ノ所ニ用ユ外科正宗ニアリ蝕薬クナラカ

シナリ

蝦夷毒矢ニヌルモノハ附子知朱タハコノヤニ

イケマハ蘭語メゴワカナ大黄ノ代ニ用痰飲ヲ下ス枳前ニテハ

血ヲ治ルニ用又煎メ血トニ用イケマヲ懐中^{ツマシ}必^ハ落馬スルモノナリ

エブリコ蘭語アガリコス痰飲ヲ下シ疝積ニ用

吐方ニハタハコヲ水ニタテ、飲マシテ妙ナリ急ナリ中用一シ

中風ヲ防クハ獨ビ穴ニ左右ニ灸ス一シ

ヒロウスト云菓子ワルチ米粉卵ニテ子リ團子ノ如クメ油アケニソ
蜜ヲカケテ食ス沙唐ヲカクルモヨシ

天門冬ヨク洗ヒ白灰水ニ浸スコト一晝夜ハカリテメ洗ヒ蜜ニテ

煮ル蜜ノ子ハルホトニたんヲ度トシ沙糖ハカリニテ水ナレニスルモヨシトリ出シ沙糖ヲ

敷タル上ニナズ日ニ干シ乾クヲ待テ壺ニハル生薑冬瓜大根

タイク皆同シ

疣ヲ奇ラズニハ柚木ケヤキノ類ノノアクワタサ子ノアク石灰ノ

アノ子リツノカタメヲキテ付ンツサリテノ後ニ瘡薬ヲ用

フシ

缺唇ヲ治スルニ缺々所ヲハサシ其所ヲコロシテシビレサセテ

ヲキ刺ニテソギトル両方ヲソギ両方ヨリシメヨセコレヲ付ルニ

ハハルサモハルシヤヨリヲ用江戶ニテ此治方ヲスルニ靈天蓋ヲ

代用スサレハハルサモノ能ニ及バスヨク付カサル内ハ面肉ノ

動カサハヤリニシテラクシ

骨鯁ヲ治スルニ芭蕉ノワカ葉ノ丸ニタルヲ黒マキニメノム

ヤケトニハ石菴金屋ヲツクル

硝子ノ破ラツクニハホウ破ヲ水ニテトキツキノニ付火ニマク

茶碗ノ破ニハ生薑ヲウラニヌリ上ヨリ漆ヲ付レハ内ニ吸入ル物

理小識ニ出

陣中等ノ用心ノメヲ貯ル魚留ハニラノ汁ニテ石灰ヲ子リカタメ

玉ミソノ如クメワルシクシエ用ニ入三日ノ比製成可ナリ
雀目ニハハモノ肝ヲ用テ妙ナリ他ノ魚ハ陸ニ上レハ目ミエスハモハ
目明ナリト云

硝子ノモトハ鉛ト白石粉ナリ

腫氣ノ類ハレセルニ野薔薇ノ實ヲ煎シ用

蜜ヲ製スルニハ砂糖ニ水ヲ入テ煮ルカキニワスコトヲ忌ムシヨク

煮上リタルハ卵ノ白ニシテ入レ下ノアク皆白ニ付テニエ上ルソ

レヲ醗メ用ユスク貯ルニハ又子ヲツメテ用ヘシ

髪カサニハ玫瑰實ノ外ニ玉ノ如クナル丸キ黄白色ノモノ付コレナリ

黒ヤキニメ油ニテトキ付ン

菌毒ニハ大豆ヲ煎メ飲ヘシ

喬麥ノ毒ニハ赤松ノヤニヲ飲又蓋炒ヲ煎メ飲ヘシ

無名ノ腫ニ付ルニ焼酒 五合 樟腦 五分 紅花 一分 乳香 沒藥 共五分 五

味ヲ徳利ニ入日ニアテん中ハヨクトコニ子レ合ナリソレヲヨソ口ラシテ

貯フ付ン中ハ小貝ノ類ニウケアタメテ付ン徳利ノ口シカトセサレハ

樟腦ト消ヤスキモノ故藥カウスケンナリ當歸建中湯ヲ兼

用スルモ可ナリ

小便頻數又遺尿淋疾疝積等ニハ芍黄散ニ牡蠣ヲ入粉藥

ノ服ニ牡蠣ハ膀胱ノ熱ヲルモノナリ

クサラカレニハ丹麥ヲ梅酢ニ入又龍糞ヲ入ルモ可ナリ

白果ト云モノ何んコトヲ知ラサリシニ唐人ニ尋タルニ银杏ナリト云リ
仙臺サイ川ヨリ出ル孫太郎虫ハ長崎ニテシヤククハエヒト云腎薬ナ
リ食料ニモ用ユ長崎ノ川ニ多クアリ

雞肝ハ殺ノ直ニトリタルカヨシ時刻ヲ過シハ切薄シ蓮肉ヲスリテ醬
油ニ入クノ醬油ヲ肝ニ引テ串ニサシテ焼用テ妙ナリ

薬味ノ香氣ヲ散セサルヤクニハ龍涎ヲ入ルシ尤丸シタルカヨシ
髪毛薄キ又眉毛ヌケタルニハ栗ノイガ黒ヤキニメ熊油ニテ子リ

付ル熊油ハ松前ヨリ出ル

魚網ニ澁付タルニハ柏ノ皮ニテ煮レハヨクヌクルモノナリ

亀ヲシケルデバツト、云シケルデハ楯ノ事ナリバツトハ蛙ノ事ナリ

楯ヲ負ムル蛙ト云コトナリ

附子ヲ植ルニハフタノコヤシヲ用ルカヨシ

廣東人參ハ三七根ナリアナリカヨリ出ル

常州真ら山ノ寒水石ハハルモ口ステコト云モノナリ

ヲラシタ桐油ハエノ油ニ唐土ヲ入テ作ル蘭人ハエイユウリ

ト云油ヲ用桐油ニ唐土ヲ加レハハヤク乾クモノナリ

蘭産ノ花ニテイルフト云アリ花中ノ第一ナリ花形ハ石竹ニ

似テ香氣アリ寒國ノ物ナレハ日本ニ生植シヤステレトモ

渡海ノ間亦道下ヲ過ル内ニ枯テ持傳ルコトアタハスト云

ヲラシタ石竹アシゲユリト云長崎ニ在アレシヤベルト江戸ニシ

云ハコレト云

膏肉ヲ治スルニハメリロサアロム

野薑薇花ヲ
密ニテウケルモノ

ヲ付ルニテ骨ニ

近キ痛ニ油藥ヲ忌ムシ油氣骨ニシテハ去リカクシ

故ニ右ノ藥油ヲ用ハシ口中ニテモ忌コトナシ齒クキナト腐

タルニモコレ

瀝青ヲ製スルニハ松ノ根ヲ切シ鍋ノ底ニ穴ヲアケタルニ入上ニ松

葉ヲ載ル其上ヲエニテヌリソノ土ニモ穴ヲアケ火ニテマケハ松氣

鍋底ノ穴ヨリ流出ンコレヲ血ノルイニテ受トリタルヲテイルト云ソ

レヲ又煮ツタルヲペウキト云是ケヤシナリ

白布ノイヲ洗フニグンジャウヲ少し入れハ蓋ト白クヤシナリ

紺青ハフタノ血ニテ作ルト云グンゼウハエナルトシ

草卧タルニ附子ヲ粉ニメヲキ足心ニ引ハシ千里飛行散ハ附

子柴參ナリ

焼酒ニ酔タルニハキ瓜ヲ食メ妙ナリナキトキハ兼テ干メヲキメ

ルヲ煎メ飲ハシ

越後ニ長者タラント云石アリ孔雀石ヤルトシ

瑪瑙ノ石ヲレイトシテキステラント云

土庫中ノ鼠虫ヲ避ルニハスリ鉢ノ類ニ水一杯入ニワモ四ツモオス

ヲシテ鼠ハ渴ルモノユヘ水ヲオケハツレヲ飲テ物ヲ食ズト云

エレキテンニ人毛ヲ隔ツレハヒキ通セズ又雷ノ鳴ル方ニムケ車ヲ

下ニ鏡ヲヲキ雷光ヲウケテ急ニ傾覆スレハ雷落ル
ト云

蘭畫ノ内ニ手ニ鞭ノコトクテんモノヲ持たんアリコレハ日本ニテ采
幣ヲ持タルコトクニテ人ヲ指揮スルモノナリユニシテウルスト云
モノナリ

首ニ輪ヲハメ高キ所ヨリツキ落セハクビレテ死ス盜ノ刑是ヲガルフ
ト云ケレイクス等ニ圖アリ

章魚鰻魚ニ木酢ヲ急ト云

エーシホルンハ女ヲ好ムモノナリ男子亦キ服ヲ衣テ女ノ形ニナリテ
コレヲトルト云

緯度ノ初ハ海中ノ山スビツツベルケト云ヨリ数エハじめ

セルニアヤ舟戦ハ拙ナレト蘭人ノ説ナリ

セルニア フランタミテハ おウゴトウツ 又略メドイツト云

ケレイクス ^{軍法} フツク書 ウエルヘルミイテリイガイ ^{作者}

書中ニアルレ ^{ノラス} トナリ ミリキヤ ^{武官} ラ、フルアルケメイ子ル ^{アムトコロノ} ウストナリ

ケレイクスノ本ハ吉雄家本ナリ印記アリツレヲ桑名侯ニテ買ハ

レタルナリ館本ノハルニハ石井庄介本ナリ

ケレイクスヲヨハ釋文ノ書ハホウコトイワ ^{セルニア} ヲナルテンフツク

桑名侯藏本アリ

安永ノ比来ハ筆者者ベツキステラント云モノ能クセルニア ^{語ヲ} 解セ

切支丹トハギリステヤント多ク略セルナリ

ヤニローリーハ二月ノウニヤールハ新年イテデルハ獣ノイ

ケイワルトハ大五トオトナリスヘテ下ニ諸侯ヲ持タシテエニアラサレ

ハケイワルト稱スルコトナレ日本唐ヲロシヤナトノエヲケイワルト稱ス

プリレストハ諸君ト云位ニあるヲランタ國王又江戸西丸公ナト

メウケ稱ス

クハトワシトクハアトラントハ云ナリ

サルハハマス魚又サケ魚ノイナリブロインヒストハしじ魚ノイ又カ

ツホノイナリ

セウラントハ総督ト云フナリロシヤ語ニハセ子ラウト稱ス

館本將士ノ像ア書ハエニハパンメイテレント云人ノ作ニテ作

者ノ名ヲ以テ書ノ名トス子イドセルニアトイツモノタリヒストリモノタリ三十二卷

合丹序目ヲ除六セ七十三枚ナリ三百年ハカリ前ノ書ナリ

ランドルブルクトハ特鼻禪ノコトナリ

コロイワガトハ一輪車ノコトナリ

ペルケメントゲイアクトハ表紙ヲ作ルコトナリ

館本コロ子イキマ天語ナリ蘭語ニテハヤ年ア書フクト云年

代記ト云コトナリ千四百九十三年ニナル

刺天ハロノインズト云所ニ在今ハ辞ノミ残りテ國王ハ七代ニテ嗣

絶セリト云

Abacadaba
Abacadabt
Abacadac
Abacadad
Abacad
Abaca
Abac
Abra
Ab
A

ハアトシ(オツト) (ヒス) (オフ) (コイ) (ト) (グ) (ク) (シ) (カ) (ト) (カ) (メ) (ル) (イ) (シ) (マ) (キ) (マ)
 シカトカハメルニ在アグラカマブラト云符字板ニカキ付身ニ帯シ
 ハ悪病災難ヲ避ルト云

セイアツタス
 〇〇〇〇トハ世界ヲ肩ニ上テ居ル神ノ名ナリ、改アツタス、改シカトカ

〇ノクヲアツタスト云セイアツタスヲ海區ト譯スルハ誤ナリ

エンゲル
 Engel 〇天神ト云トナリ小兒ノ肉翅アルヲ畫クモノ

コレナリ形ナクシテヨク物ヲ知ト云ナリ

蘭學楷梯ニ〇ハ舌頭ヲ齒後上顎ニアテ、呼フ正ナリセハ舌
 頭ヲ弄ノ呼フ音ナリ蘭人トク一氏〇ヤノ呼法甚難シト
 ス呼法ヨリ辭義ヲ差フコト多シ故ニ是呼法ヲ云ヒ習ス

オニ設ケタルモノ多シ此方ニテハ此音別ナレサレ氏土地ニヨリテ自ラ

此郷音ノ辭アルナリ余別ニ説アリトアレ氏此ニ音呼法ワカラサレ

ハ蘭人ト交話スルコト能ハス長崎ノ譯人皆ワカルナリ此ニ音ノ

ミナラスス一テ呼法ニテ懸隔ノ違アリ *phieu* 池 *Beuieu* 同

eye 骸 *eye* 富 此類同音ナレ氏呼法ニヨリテ池カ岡ニ

ナリ死骸カ富ニシ *g* 字當時ノ譯書ニカタカナヲ付テヤレ

氏カタカナハ付ラレス字ナリ去年中蘭人江戸ニ来リシトキ

江戸蘭學者交話セシ一言半句モ通セサリシト云

氷ノカケタルヲレガト云陳眉公明詩選中七律ノ中ニ断氷ト云

コレナリ蘭語ニハケイゲルト云

天竺靈鷲山今ア、メムスベルゲルト稱ス祇園精舎ハ山ノニニ
テ今ハ古鐘ト佛足石ノニ存セリ世ニ精舎ノ圖トテ藏セ
ルモノハ杜撰ノモノトシモハル佛足石ハ大サ一尺五寸ハカリ
クホミタル所ニ水々ニ在リテ好事ノ人其水ヲ汲テ藥用
トシ或ハ目身ナト洗フトイフリ鐘ハ一年ニ一度ワコレヲ
引アゲテ撃チコトアリ聲ニ里ニ聞エ蘭人佛足石ノ
打奉ヲ持来ルコトアリ

天竺今ハ回^{カイ}テ教行ハレ佛教又悉曇ナトハ絶テナレト云文字ハ
ハルシヤ字ナリ回^{カイ}テ教主ノ名ハゴメタシト云長崎ニ来ル崑崙
奴ハ專此宗ヲ奉ス印度邊ノ教ハスヘテ回^{カイ}テ教ナリ長崎ノ人

崑崙奴ニ請テ回^{カイ}テ字ヲ教エヨトクハ豕ヲ食フコト、焼酒ヲ
飲コトヲ一生禁絶セハコレヲ教エレト云何エニカク重秘スルヤ
ト云ハ遠近古今ノ隔ナク意ヲ通シ用ヲ辨スコレホトニアリカ
タキコトハヤレソレヲ容易ニ傳フヘキニアラストテ教エストクアリ
崑崙奴常ニ和言ヲナレテ日本ノシヤカジヤニゲドウクト云メ
リト云蘭人ニ好事ノ人アリテ彼禁ヲ守リ回^{カイ}テ字ノ教ヲヨク
キ、其義ヲ解メ書ニ作り楢林ニ贈レリ其書ノ名ヲハレイヌ
スヘレイキコンスト、云

シヤムニ大佛アリ海上十里ホトヨリニユル佛ハ涅槃像ナリ
太田某ハ天竺ニ行ヌルコトアリ古キ寺ニ至リテニタリシ

ニ一人ノ番人アルノミテ荒ハテタルヲミテ何故ニカク衰廢
セシヤト云ニ今ハ佛教モ衰誰參拜スルモノモナシ故ニ如此ニナリ
タリサレ氏此寺塔ニハ伽葉ノ木鉢ヲ藏セリ大切ノ物ナルニ
ソレニ守ルナリト云太田コレヲキ、番人ノ急ルヲミテヒソカニ
其鉢ヲ盗ミトリ日本ニ持歸ルサレ氏俗家ニラクキモノニ非
ト思ヒ長崎ノ高林寺ニコレヲ納ム今ニ在リ禪宗ナリ
琉球ニ諸宗ノ寺アリ一向宗ハナリナシト云
廣東ノ海邊ニワイナシト云島アリ蘭人ハアイムイト云海南ナ
ルツシヤ

硝子鏡ハ錫箔ヲ硝子ニノセ其上ヲ水銀ニテラシ付ル水銀ハ

唾ヲ入テツブセバヨク子レ合ナリ如此ノ其上ヲアタムルトモ云
ツリソレミ及ハサルカ試シ

ヲロレヤ錢文エカテイリテ帝王ノ事ナリ

羅紗ヲ包ミ来ルモノハ明鏡ト云エケレスノ製ニテ唐ニ交

易メ唐ヨリ日本ニ来ル

蘭人日本渡海ノ間安南海邊ニテ漂流ノ人五人舢板ノ破
レタルニトリツキテタ、ヨヒシヲ見付網ヲ投メコレヲ我舟ニ引
上ケタリシニ其舢板ハツノマ、破レテ流散セシトナリ其人ハ
日本ニツレ来リシニ言語不通文字ハ知ラス何國ノ人トモワ
カリカタシ後ニヤ、語ワサルマクニアリシカ只好ナンニヨントハナリ

キユエ安南人ト云コトナレシ後安南ニ送り歸セリ

唐人ジマワノ國ニ至リシトキ崑崙崙奴ニ向ヒテ此國人何ト云ソト問ク

リシニ耶子ノアリシニ指シテ問ケル奴ハ其樹ノ名ヲ問コト思

ヒ耶子ノ名カラツバア蘭語ナルヲスクニカラツバアト答シニヨリ咬啣

吧ノ字ヲ用テジマワノ名トセリ

又或人ユブ疣ハ何ト云ソト問シニ昆布ト名同レキニヨリ海帶ト

答フ此訛言ニヨリ疣ヲモ海帶ト稱ス物ノ害ニ尤ニトヲモ

上海帶トイフ

藥方ノ書ハレキシイコト云書ノ抄解ナリ

イソホモノカタリト云書ハ昔イソヲヒスト云書ノ和訳ナリ古書也

アフリカノ内カアフトエ所ノホツテントトノ人肉食ニテ火食ナシ婦

人ノ乳長メ肩ヨリ背ニ垂ル蘭人ニ鍋スミヲモラヒ獸油ニ和

メ而ニ塗ルトイフ

和蘭産物圖考ハフリスミス云書ヲ譯セルナリ

婦人妊娠ノ身ノ強ハルニエ砂ヲ用レハ和ラカニナレ此物漢土

ニナレ和蘭ニアリトイフ

諸君孔明ノ銅鼓命氏ノ人齋未ス谷川間八十郎ト云安

永中江戶ニ獻セリ永樂帝討逆長谷川氏ノ餘孽也

鸚鵡ハ價五百匁位ナリ

漢土ニ酢醬味噌ナレ長崎ヨリ購去ル

韃人の好テ馬ヲ食スト云蘭人嘗テ馬脯ヲ鷄ニ食セシムレハ強健
ニテ聞鷄ニ妙ナリトテ贈リタルコトアリイカノ馬脯ヲ得タリヤト
問レニ犬ニ食ハスレハ聞ズノ中強健ナリトテ韃人ノ貯エタルヲ乞
得タリト云リト云フ

譯人嘗テ唐人ヲ奴女ニ逢ハセシトキ此唐人前年来リシトキニ禿
ニテアリカ今年長ノ奴女ニナリタルト示シケレハ唐人感慨ノ色
ニテカシアンスウマアト云テ外語ヲナリシト云譯人モ其語ヲ解サ
ス何ノ義ナルト問レニ看鞍思馬ト云義ナリト云アリ

小島ナトノレイル内ヲ打ニハ無數散ト云玉ヲ用ユレシコレハ鉛ヲ板
ニソソレタ節ニ切又小粒ニ切小豆ホトニメ石ノ上ニソセ上ヨリ物ニテス

六角クツブレテ丸クテル小一握オト筒ニ入テ打ナリ

トリコモリモノヲ殺ウズニ捕エンニハ水銃炮ニテ打レ筒ニ火薬ヲ

ツマフノ上ニキヨムコヲ口ニツメ水ヲ入テ打ナリ氣絶スルモノナリ

米札ノ行ルハ藝州佐賀那古屋三所ナリ鍋島ニモアリ一升

五合位ニテナリ

砂糖長崎ニテ御買上ハ一斤六分ワナリ 瀝青ノ價江戶ニテ一斤

セムハナリナリ

木錦ノ上品ハ大村ト豊後ノ飛田ナリ

大薩日ニ九十枚アリ鍋島五島ナトニモアリ

瓶前ハ一々六十文ノ定ナリ

上総ニテ磐ノ利ハ八十萬兩あり

杉前ニテハ寔中ニ酒席ハ夏ハ却テ腐ラストイフ

天章ニテハ門徒宗ノ僧ヲ賤シム他宗ノ僧同心ニトキモノトイフ

此門徒宗ノ上ニ座ス又門徒宗ノ僧ハ先玄関ヨリ上リ佛壇

ニ一礼ノ後茶ヲト出スト云

後水尾帝ハ御謠歌ヲヨクヨミタマヒシ

瀬十郎^{ビシ}キケ夏カキテナクおトキス

テウリヤ垣ノヒカタノステラマ子

細川侯熊本ノ士ニ強カノ人アリテ代ニ其術ヲ傳フ或ハ

外ヨリ強カノ人ニテカラタラベシコトヲ乞フ其人コレニ對

ノ具方カノアリタケヲ出メ示ス一シト云ケレハ其人米俵數

表ヲ擧テテミセケルカ士ソノ俵ヲ戸板ニ三枚重子タル上

ニノセテ板ノ下ニ擧テテミセシニ其人ハコレヲ擧ルコト能ハ

スシテ服セリト云又カ者アリテカラクラベンコトヲ乞フ其人

ヲ玄関ニテキ勝手口ヨリ廊下ヲ踏ナラシテ出タルニ廊下

震動シタルニ驚キ彼カ者平服シタリト云其カ士ノ名ハ忘

レ又重テ尋又云

又熊本ニ善走ノ術ヲ傳フルモノアリ京ニ出タルトキ佐ノ木岩

流ニ逢ヒ我唾ヲ手ニウケ流カコニスル流怒リテコレヲ追フ

走士走りテ屋上ニ登ル流モ屋上ニ登リケレトモ遂ニ見

失じしト云後ニ流熊本ニ仁エテ走士ト出逢テ互ニ笑じしト云
岩流カ兵法ハ今ニ熊本ニ在

又熊本ニ水練ヲ傳ルモノ士人ト是輕トメ兩流アリ胄ヲカブリテ
水底ヲ步行メ川ヲ越スモトヲナス是輕ハ胄ヲカフルコトナラサ
レハ摺鉢ヲカブリ繩ニテシメテヨシタリシニ水ニトヒテ越ルコトアタ
サリシト云胄ニハ幡座アリテ水ヌクル故水ニ堪ル摺鉢ニ
テハ水ヌキナキ故アノキトミユ此後ハ陣笠ニ水ヌキノ穴ヲアケテ
カフルト云

又熊本ノ士界野嘉十郎犬追物ノ法ヲ傳フ馬六ナハカリ預ル
トアリ犬追物ノ術ハ薩摩ヨリモ妾トアリ嘉十郎ハ長崎

ニモ玄ルコトアリ常服淡黄月黄ノ木綿ヲ表裏ニ用ヒタルト云門人モ
ソレニナラヒ此ナラサレハ士人ニアラサルヤウニミヌルホトナリトアリ
熊本ノ學士古屋鼎介ハ十次郎兄ナリ學館ニカラスレテ近
侍ノ學士ナリ大城ヲ子多十郎ハ町家ヨリ出タル人ナリ

秋山玉山嘗テ畫工ニ命メ我像ヲ寫サシム未成メ玉山死ス
畫工コレヲ寫サンコトヲ思ヒ尺久シクシテ成ラヌ或時間坐シ
タルニ庭前ヨリ玉山進ミ来ル畫工ニ云汝ニ託スコトアリテ来
レリ我室ノ内簾司何番メノ引出シニ封シタル書アリコレハ
跡ニ遺ス一キモノニアラス汝コレヲ出メ燒ステタルハ一シト云其
時畫工ヨク々其面ヲ熟視メ寫シ得タリ初玉山ノ家ニ

其り此事ヲ告レニ果シテ一封ノ書アリコレヲ出メ盡エニ附メ
焼シト云敷茂次郎ノ語ナリ彼書ハ少年ノ時妓女交通ノ
書ニミアラシヤト茂次郎云アリトフ

敷震庵熊本ニ任テ四百石ノ禄ナリ長子市太郎其禄ヲ

ツギ次子茂次郎モ別ニ任テ四百石ナリ

兩森藤五郎伯陽妻ハ西川主介加見後妻ト姉妹ナリ此女姉

妹ナカラ長崎ノ妓女ナリ此妓女ノ弟モ律院ノ小姓ナリシカ

後二人ノ養子トナリ今ハ三おト宜シキ役人トナル主介今六

十歳ハナリナリ

細川家ニテ大石主税ヲ預リタル時或人大石ニ問ケルハ士人

四十七人ニ限ルハアニリ少分ナリトアリケレハ大石云ナルオト四十

七ニ限ラヌイカラモアリケレ凡皆誹諧師ト下戸ハカリ多クテ用

ヲナサスト答タリ大石ハ上戸ニテ誹諧ヲ惡タリト云

熊本ニテ女ノ山中ニテ飛ヲ見カケタルモノアリ怪物ナリト思ヒ鉄炮

ニテ打殺シタルニヤハリ常ノ婦人ナリトナリ

薩摩侯ハテ石留ノ費用ハ砂糖交易ノ利ハカリニテ給ルニ

足レリト云

秀頼ノ薩摩ニ奔止セラシシ時ハ真田一人從ヒ付テ山伏トナリ

米ヲモラヒテ秀頼ヲ養ヒマヒラセシト云義久ノ時ナリ後吐血ノ

症ニテ死ス此後此一派ノ山伏アリテ士家ニモ唐突ノ米ヲ乞

フニ與エラルモノナレト云

薩摩ノ島津某ハ尾州ノ婿トナリシエトテ國主聞タヒテ勅
當セラレシト云ソレヨリ此人ハ江戸ニ召サレテ幕下ノ士トナリ
三千石ノ祿ヲ賜ハリ今子孫アリ

種ヶ島彈正二十萬石ハカリノ祿ナリ居第ナク甚大ナリ
薩摩ニ谷山ト云所アリ先年朝鮮人ヲ鹵略シ来リ此地ニ置
ク一村皆朝鮮人ノ孫ナリ今ハ朝鮮語ヲ知タルモノモナシ對
州ノ朝鮮通事薩摩ニ来リ谷山ヲ尋タリシニ昔ノ事ナト物
カマリ鮮語ヲ習ヒタキトテ教タルコトアリシカ倭門十郎竊ニ
對州ニ訴エテ彼通事ヲ流罪セラレシト云對州ニテハ鮮語ヲ

外人ニ教ヌルコトヲ禁スル故ナリ

薩摩ノ年寄役増田孝兵衛ハ使番榎林某母方ノ從弟ナ
リ重兵衛モ知人ナリ高山彦九郎孝兵衛カ家ニ往トキハ
重兵衛ヨリ書ヲ附シタハト云

琉球攻ノ時王ヲ打タシハ樺山左京ト云人ナリ今ニ子孫アリ
代々相續ノ人ハ癩疾ヲ患フト云

鍋島ニテ驛夫ニハ衣號ヲ作りテ着サシハ其數二十ハカリニ
テ是ハト云久保三左衛門ト云人ノ定メナリ

鍋島ニテ人ナクニシテ着るニト容易ナラズ

鍋島加賀守殿嫡子ニ御近習ヲ勤マラシメカ
昔ハ大名ノ子息御近
習ト云フ事アリ

妖怪ノアリシヲ三付テ古キ狐ノ梁上ニ居タルヲ睨ニ落シタルトアリ
將軍家コレヲ感賞シタニ其狐ヲ加賀守ニ賜ハル其狐ヨク人
語ヲナシ五百年ノコトヲ談セリト云此時ノ恩賞ニ伊達道具立ルコ
トヲ許カシ本家ヨリモ多ク持メセラルコトニナレリ
天草ノ賊黨千ニ波五郎左衛門ハ火術ニ妙ヲ得ルモノ故ニ鍋
島家ニテ命メステトアリシニ千ニ波云吾等賤ノ四郎ニ與メ
ナレシニ是處トナリ又命メスアリテ奉公セシハ本意ニアラズ吾兒
民間ニ隠シテヤムルアリ願クムコレヲ召使ヒタハランヤト請シニ
ヨリソレヲ召出サレ原次郎名衛ト云島原ノ原ヲヨリテ姓トス
鍋島家火砲ノ事ヲ預ラト代ニ此術ニ妙ナリ今ノ次郎名衛

モ最妙ナリ 祿五百石ナリ

高松侯渡海ノ時順風ナリシニ播州沖ニテハカニ其舟進ムコトヲ
得ヌイカナル故ナリト改ラレシニ長キ角ニテ舟底ヲ貫テアリ水練
ニ命セラレテエレヲ切取ラシメラレテ後舟進ムコトヲ得タリ其舟ハ
室津ニカケラレテ修補セラル其角ハ今高松寶藏ニ在リト云
ナイラキ鯨ノ角ナルニシワニカクニニ代用スウニヤウルノ渡ラサハ前
伊勢熊野浦ノ漁人ハ此角ニテ箸ヲ作り食スレハ毒ヲ解スハ
云傳タリ

宰府天神ノ祭ニ花ノ形ニ作りタル餅ヲ供スコレヲラシト云此
文字如何重テ考ツレ

黒田ノ今侯ハ官兵衛ト稱セラル四十五歳ニシテ此父侯ハ
南将軍家ノ御弟
ニ特ニ愛遇シタヒシ入國ノ儀演御殿御ナリト統メ國簿上隨祖餞アリ
シホトコトナリ此侯ハ廿二歳ニテ小瘡内攻ニテ卒セラル甚聡敏ノ人ナリ
國ニ綿運上ト云コトアリテ綿ヲ作ルモノヨリ運上ヲトクルヲ聞テ商家ニ
階ヲ作りタルホトノ家ヨリニ階運上ヲトルニ命セラル役人ヲシハ商家戸
數ニヨリ既ニ租入んコトナレハ重ニトルコトハアルカラスト云侯シカラム田租入上
ニ綿ヲ作ル運上ハ重ニアラズヤトテ綿運上ヲ止ラシメリ又遊獵ノ中自ラ
鳥銃ニテ路鳥ヲ打タヒシニ近臣ノ内ニテ又アトヨリ打テ其路鳥トナリテ近臣
皆多ク鳥銃ニテトナリテ吹テアタリシ故ニ孝タリト賞シ奉ル侯又クコレヲ
割意セシ近臣ノ銃打んニモ酒々ハリテ者ヲ多ク出サレサキニ我打ムル安

銃ナリソノ玉コ、ナリトテ袖ヨリ玉ヲ出メ示シタヒシト云又國ニ孝子アリテ
賞賚アリ其後郊野ニ遊ハレシニ古墳ノ列セルヲミテ何人ノ墓碑ナルヤト
尋ラレコレハ前年賞アリテ孝子ノ墓ナリト云レハ何故碑石ハ高大ニ作りシ
ヤト問ハル近臣コレハ孝賞ニヨリテ貴富ニ立リ家ノ中興ナレバカク作りタリト云
侯ノ云々ト云レテ左アリトモ父祖ヨリ高大ニ作りシハ孝子ノ心ニ叶フハアラズ父祖ト
同クメタリ孝子ノ心ニ叶フ人ケレバアリシ故コレヲ立タリト云
壹岐ハ米多キ地ナリ三十万石モアハレシ討馬ヨリモ大國ナリ討馬ハ二万石ノ
高肥前田代ノ地一万石アリ大村ハ十二三万石ノ高ナル
江戸ニ交勤ハ五島平戸ト組合隔年ニ出ル島原唐津ト組合鍋島ノ出ル島原ニ交勤ナリ
美濃大垣戸田米女正殿ノ臣大屋基風工記善本ヲ藏ス

筑紫善道寺法會ノ時樂アリ其樂器ニ一節切ヲ用
ニ外ニナキモノナリ

隱岐ニテハ山ヲニワシコケ一ハ田ヲ作り一ハ草ヲウエ一ハ馬ヲ牧ス
末年ニハ馬ヲ牧スル地ニ田ヲ作り草ノ方ニ馬ヲ移シ田ノ方
ニ草ヲウエル如此ナ年々替ルト云

黒田家ニテハ次田刀ニテモ三四カニテモ他國ニ出テ物學ヲモノ
ハ二人扶持ワシヲ賜ハルト云

長門侯ノ醫官ニ栗山孝庵ト云アリ富豪ノ人ニテ宅地一町
ハアリテ孝庵町ト云ホトナリ瀧弥ハ微賤ニテ足輕役ナ
ル片途ニテ孝庵ニ逢シニ何クニ行ツト問ケレハ弥ハ今度江

戸ニ至リ遊學セントス江戸ニハ但東南郭ナト云名家アレハ
レニ從ハント思ヒ家ヲ出タレニ資用ニ乏シクメイカセント思フナ
リト云孝庵ソレヲキ、テシバシ待ツントテ急ニ家ニ歸リ金五
十兩ヲ取出レテ携テ弥ハニ贈ル弥ハコレヨリ江戸ニ至リ學
ビテ大名ヲナセト

雪舟流ノ畫法以テ大膳大夫侯ノ家士ニ多クアリ等ノ字ヲ
容易ニ號スルコトヲ許サス熊本ノ雪叟ト云モノ今ノ妙手

常州近方邊河原ニハ抗ヲ撃テ打テ自然ト塵土堆積ノ界ヲ畫ケル術アリソノ上江州米糶アリヨコ
島原ハ米ノ少ナキ地ナリ百姓常食ニハフクレ十字サツニヤ

百六十石ノ價 粟飯 入 等ヲ用タテク米飯ヲ食スルモノアレ

ウエテ了ナ
ラン水ニ
堪レ穀

ハ常食料ニ乏シクメ城下ヨリ米ヲ買テ食スルトテ人皆コレ
ヲ誇ル實ハ米ノ上品ナク地ニテ米ハ皆大坂ニハシテコレヲ
賣ルナリ貢納ニ米ヲ用ヒ外ノ麥粟ノルハ作り取りナリ
サツニ芋ヲ多ク作りテ食料トス又ハゼヲ作りテ蠟ニ製メ
大坂ニ出ス近比ハ侯家ノ買上トナリ蠟ノ利ヲ私セラルト云
加藤清正ノ孫安藝ノ家士ニマリ膏テ小舟ニ駕メ大坂ニ行
タルコトアリトケナレニ行ヌニヨリ侯ヨリ咎アリ又アトキニ
侯ヨリカラミセラレシコトアリレニ其中ニテ殊ニ勝レタルアリ
取コレハ我ニ賜ハルトシトテ持云ん左右ノ人ソレハ侯家ノ御道
具ナリ然カスヘカラストトメケレト聽入レスシテ退出セリト云

桶林榮哲徒兄ナリ

由井松雪ハ熊澤ヲ海ニ參會セルコトアリ備前侯ヲ松雪
ヲカエントテヲ海ニ問ハレシニ國ニ心ナキ人ナリトテ其事ハ
止ナラレシト云

三橋鉄作侍今藤ハ極テ短氣ナル人ナリ御代官ノ時百姓ヲ

呼訟ヲ聽ケルニ百姓服ヤスシテ上ニテハソレニテ然ル一クトモ百
姓方ニテハ左ヤリハオラヌモノナリト云ケレハ鉄作大ニ怒リ擄

ノワヤリトリ白洲ニ飛ヲリシニヨリ彼百姓モ恐レテ止コトヲ

得スレテ証服セリト云其事勘定奉行キ、テ如此ハ代

官ノ器ニテラストイハレシ鉄作モワレヲキ、後ヲ辞メ小善

請ニナリシトナリ

重兵衛在留中小作左ニ録ス

空濶仙湖萍水連消魂橋畔柳將烟三千里外三千客目
送天邊羣雁旋

桃李花飛鳥又悲獨憐黃菊映東籬祇緣日々淵明醉

不似秋霜一夜衰題夏菊

漁家多勝事投宿聽潮生不厭村醪薄且歡海味清春

田蛙吟曉曠鳥嚶欲極桃源路向霞彩深處行

城東勝景盡還北雪白布帆鏡翠微海水遙兼湖水濶

桃花時逐浪花飛

白雲万里隔鄉関花落鳥還人未還誰道常盤知己少

城中長見筑波山春曉即事

請

望其前在後也 少休在後也

宜開以開以開水連河堤橋畔村將酒三千里外三十客

送天遺屏屏紙

柳事在痛身 八等從漢書 為此來臨紙錄日 湖

不以以在 一夜裏

沈家入務多投名德湖生不厭村野傳且歡海陸兩春

曰江於晚晴思樂 欲檢檢道路向 竟難保

數年教男所教已 亦難能 亦 鏡 平 海 水 道 不 難 矣

與柳柳則能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能

